



2020 ~ 2023



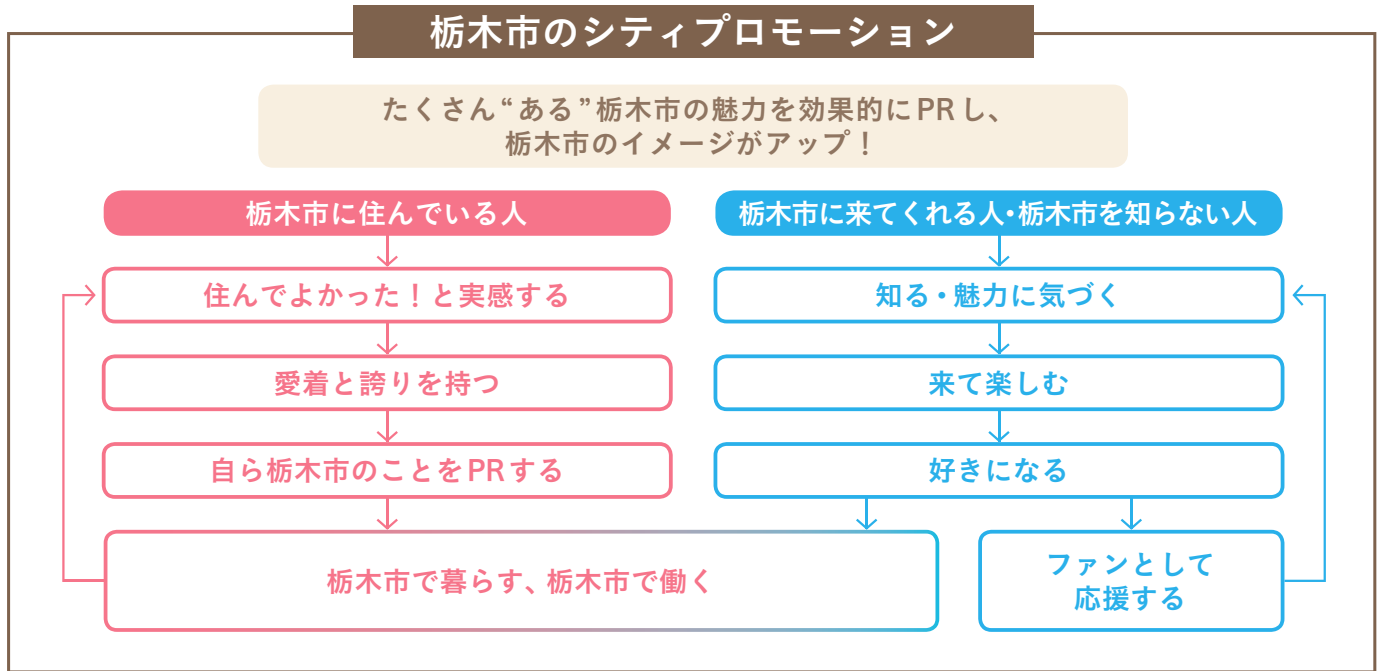
栃木市



1. 栃木市のシティプロモーション

基本的な考え方

シティプロモーションとは、栃木市の魅力を幅広く多くの人に伝え、栃木市に住んでいる人をはじめ、来てくれる人、知っている人、市内外を問わずファンとして応援してくれる人が、増えていくように取り組む戦略のことです。



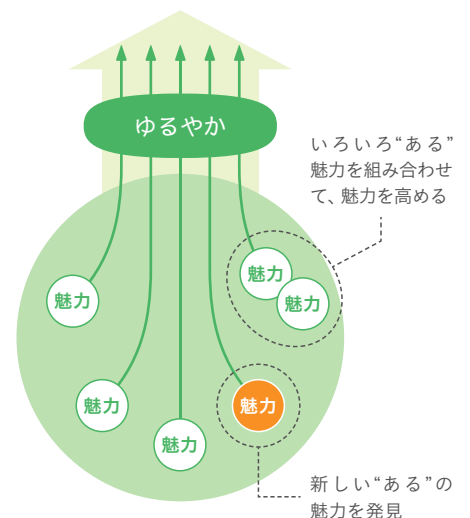
キャッチコピー

栃木市のシティプロモーションは、

“ある”が嬉しい ゆるやか栃木市

をみんなの合言葉として、進めています。

栃木市に“ある”自然、歴史、文化、安心できる生活などのいろいろな魅力。そして、栃木市をつつみ込むほっこりとした“ゆるやか”な雰囲気。これからもたくさんの“ある”をつくり、磨いて、まちの魅力を増やしていきます。栃木市のやさしく温かい“ゆるやか”な雰囲気がみんなに浸透するよう、栃木市の魅力の共有と発信に取り組めます。



contents

1. 栃木市のシティプロモーション	2
2. これまでの取り組み	4
きづき ～もっと知りたい～	5
3. “Creation 2nd”の方向性	10

4. アクションプラン	12
あそび ～気ままに自分らしく～	14
くらし ～ほっとするまち～	18
おもてなし ～みんなで力をあわせて～	23
5. 推進に向けて	26



みんなで取り組むシティプロモーション

♡ キャッチコピー・ロゴマークを活用しましょう

栃木市の魅力を発信できるような資材（動画やパンフレット、計画書等）や名刺・職員証等に、プロモーションのキャッチコピー・ロゴマークを入れましょう。



ロゴマーク

キャッチコピー

“ある”が嬉しいゆるやか栃木市

♡ 「合言葉」で写真撮影しましょう

《通常使用》



《特別なシーン》

①とち介と一緒に



②スポーツの試合やコンテスト受賞など



<ポイント>

- 合言葉の最後の文字が母音の「い」なので、撮られる人が自然と笑顔になるよ！
- 共通の掛け言葉を決めることで、撮影者側も被写体側も、みんなの発声のタイミングが取りやすくなるよ！
- 「栃木市」や「とち介」のPRになるよ！

♡ 名刺で推すので“ある”

名刺に自分イチオシの栃木市の魅力や動画サイト等のQRコードを記載しましょう。電子メールの署名欄には、動画サイトのURLを記載して、栃木市をPRしましょう。



栃木市動画チャンネル
シティプロモーション
動画公開中！



みんなは「○○○」の所に、
栃木市のイチオシの“みりょく”
をかいてね(●・人・●)



活用のイメージ(名刺)

♡ 栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”の仲間になりましょう

栃木市に関するプロスポーツチームを応援する市民応援団の一員として、栃木市のスポーツを盛り上げましょう。

愛称“Strawberry Hearts(ストロベリーハーツ)”について

栃木市全域で育てられている生産量全国5位・県内2位の「いちご」と、渡良瀬遊水地の象徴である通称「谷中湖」の「ハート」を組み合わせたものです。農作物を大事に育てていくように、ハートの気持ちを持ってチームを応援していただければと思います♡



市民のみなさんもいっしょに取り組みましょう！！

2. これまでの取り組み

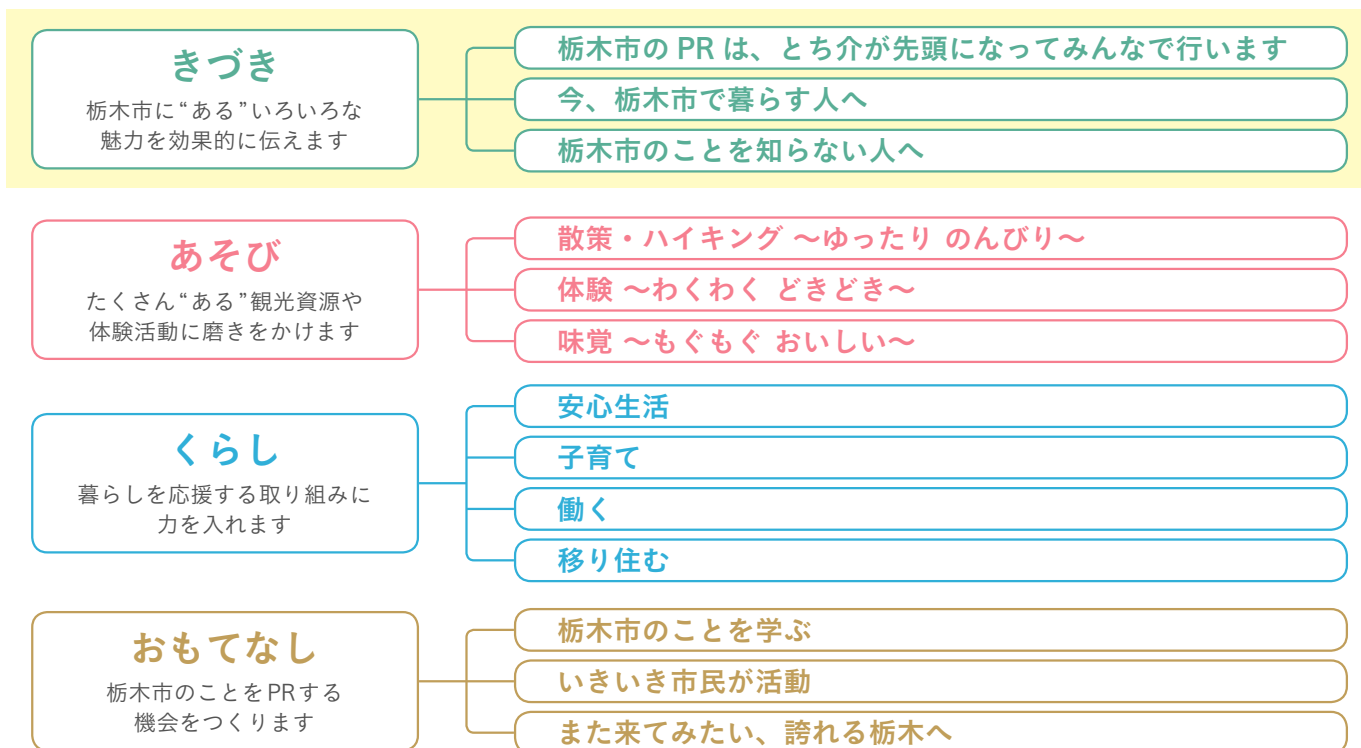
想いをカタチに

わたしたちは、栃木市の魅力を、住んでいる人、遊びに来たことがある人、まだ知らない人、多くの人に届けたい。そんな想いを伝えるために、「Tochigi City Promotion “Design”」と「Tochigi City Promotion “Creation 1st”」をつくりました。



“Creation”の4つの分野

“Creation 1st” (2017～2019)の3年間では、「浸透」をテーマにシティプロモーションに取り組んできました。住んでいるみなさんには栃木市の魅力の再確認を、そして栃木市をまだ知らない人には知ってもらいたい、そんな想いを込めて「きづき」に重点を置いた取り組みを進めてきました。



“Creation 1st” 「きづき」の取り組み



～もっと知りたい～

栃木市のPRを、とち介が先頭になって、みんなで行って^{おこみ}きました。

♡ とち介と一緒に

栃木市全体の一体感の醸成や知名度・イメージアップのために、市内外で開催されたイベントや、海外で開催された日本を紹介するイベントにも積極的に参加し、とち介が先頭になって、みんなで行いました。



事業名	内容	今後の展望
マスコットキャラクター活用事業	栃木市マスコットキャラクターとち介が市内外でのイベント等に積極的に参加し、栃木市のPRを行いました。	とち介が市内外にお出かけすることで、郷土愛を育み、市外での知名度アップや交流人口等の増加に貢献します。

♡ とち介からのメッセージ

栃木市の情報を身近に受け取ってもらえるよう、SNS等でとち介からのメッセージを伝えてきました。また、栃木市の「ゆるやか」なイメージが定着するように、市全体の情報発信について、統一感を持って行いました。

事業名	内容	今後の展望
SNS等によるとち介の情報発信	とち介の活動を通じて、市の魅力や新たな取り組みの情報を国内外に広く発信しました。	時代に合わせた効果的な情報発信方法を研究し、とち介から栃木市の旬な魅力を一人でも多くの人に発信し続けます。

ホッとひと息



“Creation 1st” 期間のとち介の歩み

1 とち介ツイッターのフォロワー数の増加

2017年3月末
4,456人

約5,800人増

2020年2月末時点
10,255人

2 フランス・パリで開催されたJAPAN EXPO に3年連続で参加！

栃木市の観光情報、工芸品等をPRしてきました。とち介もステージでダンスを披露したり、来場者と写真を撮ったり、フランスでも大人気でした。



今、栃木市で暮らす人へ

栃木市からの情報発信

栃木市に“ある”たくさんの誇れるものを、市の各種広報媒体等を活用し、わかりやすく全国に向けて発信しました。

事業名	内容	今後の展望
広報事業	広報とちぎや市公式ホームページ、各種SNS等を通じて、本市の情報をより多くの人にわかりやすく発信しました。	広報紙やホームページは、より見やすくわかりやすくなるよう工夫し、SNSは、タイムリーで話題性のある投稿を心がけます。

地域放送局と連携した情報発信

栃木県内初のコミュニティFM “FMくらら 857”やケーブルテレビ(株)等と一緒に、栃木市の情報を発信し魅力を伝えてきました。

FMくらら857
公式キャラクター
くららん



事業名	内容	今後の展望
放送番組制作委託事業	ケーブルテレビ(株)、(株)とちぎテレビ等を活用し、行政情報を発信することでPRを行いました。	テレビやラジオ放送を活用することにより、市政のPR及び市内各種行事等の情報を積極的に発信し、本市のイメージアップを図ります。
コミュニティFM委託事業	コミュニティFMを開設して、災害時の避難情報等を提供し、平常時には地域の特色を活かした情報の発信を行いました。	市民に対して、緊急情報の迅速かつ正確な伝達を行うとともに、暮らしに必要な情報の提供を行います。

ふるさと大使からの情報発信

栃木市の魅力を全国に発信してもらうため、本市にゆかりのある著名な方に「ふるさと大使」になっていただきました。

事業名	内容	今後の展望
栃木市ふるさと大使	栃木市ふるさと大使を委嘱し、本市のPRをはじめ、様々な活動へご協力いただきました。	今後も栃木市にゆかりのある著名な方を大使に委嘱するとともに、大使には積極的に活躍していただき、本市のイメージアップを図ります。

ホッとひと息



ふるさと大使からの温かな支援

栃木市は2019年10月の台風19号により大きな被害を受けました。全国から多くの支援や励ましの声が集まる中、栃木市ふるさと大使の方々も、ボランティア活動への参加やご自身のSNSを通じた支援の呼びかけ、義援金の寄付など、様々な形でご尽力をいただきました。



市民のみなさんへ向けたメッセージと義援金を寄付いただいた八津弘幸さん



とちぎ高校生蔵部の高校生とともにボランティア活動に参加した上原チョーさん

市民組織の立ち上げ

栃木市のシティプロモーションを市全体で盛り上げていくため、市民組織を立ち上げました。

事業名	内容	今後の展望
ゆる栃くらすた事業	市民有志による「ゆる栃くらすた*」を募集し、SNS等を活用した魅力の発信を行いました。	高校生や市内在住外国人等に対象を絞って事業を継続し、参加者の特性を活かした発信を行います。

*ゆるやかな栃木市で市の様々な姿を発信する Cluster 集團の意

栃木市のことを知らない人へ

🍷 栃木市からの情報発信

わかりやすいパンフレットの作成や各種イベント・キャンペーンへの参加など、栃木市の魅力を伝えました。

事業名	内容	今後の展望
観光振興宣伝事業	観光パンフレットの作成や各種イベントへの参加などによる本市への誘客を図るとともに、関係自治体と連携し、広域での観光誘客を図りました。	電子媒体やSNSでの本市観光情報の発信強化に努めるとともに、広域での連携や首都圏からの誘客の促進を図ります。
シティプロモーション事業	本市の魅力を発信し、対象を明確にしたシティプロモーションを行うことで、本市のイメージアップを図りました。	シティプロモーションを推進し、さらなる定住人口や観光客の増加、企業の誘致につなげます。

🍷 マスメディアを通じた情報発信

定例記者会見やプレスリリースで定期的に報道機関へ最新情報を発信するとともに、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等、各種メディア媒体に馴染む情報を効果的に発信しました。

事業名	内容	今後の展望
栃木市定例記者会見	定例記者会見を開催し、各種メディアの媒体で本市情報の効果的な発信を行いました。	今後も各報道機関にとって価値や興味のある情報を戦略的に発信し、各種メディア媒体での露出増加を図ります。

🍷 PR 冊子や動画の作成

栃木市の魅力を発信できるPR冊子の作成や、PR動画作品の制作をはじめ、作品を活用した観光PRを行いました。

事業名	内容	今後の展望
栃木市シティプロモーション冊子「aru」発行	栃木市の魅力を発信するシティプロモーション冊子「aru」を発行し、本市の魅力を再確認と愛着心の醸成を図りました。	年に1回シティプロモーション冊子を発行し、市民に関わっていただきながら、様々な視点からの魅力の共有を図ります。
栃木市シティプロモーション動画作成	栃木市のプロモーション動画を制作し、動画サイトにアップロードしたほか、新宿アルタビジョンで約1ヶ月間放映しました。	各課で制作したプロモーション動画も含めて放映機会の増加に努めるとともに、動画制作と管理のルールづくりを進めます。

🍷 市外からの応援

東京スカイツリーにある栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」や、ふるさと納税（栃木市ふるさと応援寄附）等を通じて、市外の栃木市ファンを増やし、応援してもらう仕組みの充実に取り組みました。



栃木市
ふるさと応援寄附
ホームページ

事業名	内容	今後の展望
東京スカイツリーアンテナショップ事業	県との連携により、観光パンフレットや特産品を栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」に設置し、本市の知名度向上と誘客を図りました。	本市の観光パンフレットや特産品を設置するとともに、栃木市のイベントを実施するなど、「とちまるショップ」を最大限に活用していきます。
栃木市ふるさと応援寄附事業	本市の特産品等を、ふるさと納税制度を活用して広くPRすることで、本市への寄付額の増加と地場産業の活性化を図りました。	魅力的な返礼品を充実させ、イベントへの出展など、市内業者と連携した特産品等のPRにより、本市へのふるさと納税の促進を図ります。

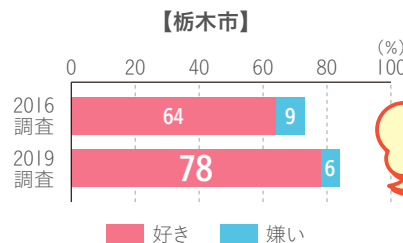
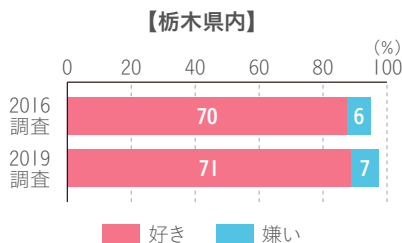
“Creation 1st” 「きづき」の成果と課題

♥ 自分の住むまちのこと、どのくらい好き？

「自分の住むまちが好き」と思っている栃木市民は、栃木県全体と比べてやや多く、前回と比べると、「好き」と回答している割合が増えています。少しずつ、市への愛着や誇りを持っている人が増えてきました！

栃木市の魅力はどのくらい伝わった…？

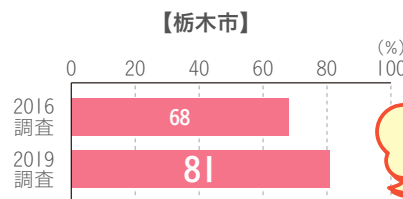
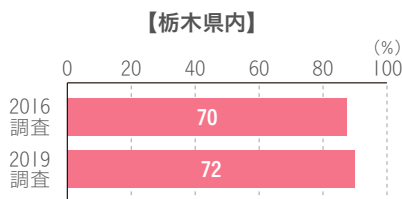
Q 自分の住むまちが好きか（単数回答）



約 15 ポイント UP!

現在の居住地に住み続けたい人の割合は、栃木県内の調査対象市町平均72%に対し、栃木市は81%で、市民の愛着心が着実に育まれてきています。

Q 自分の居住地に住み続けたいか（単数回答）



約 15 ポイント UP!



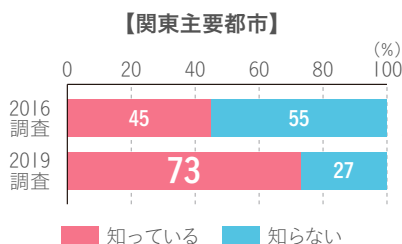
出典：Tochigi City Promotion 2nd アンケート 2019 調査：栃木県内 (n=4,105)、栃木市 (n=600)
Tochigi City Promotion 1st アンケート 2016 調査：栃木県内 (n=3,520)、栃木市 (n=714)

♥ 「栃木市」のこと、みんなどのくらい知っているの？

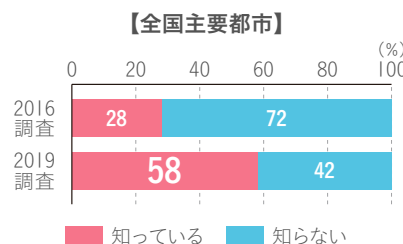
栃木市のことを「知っている」と回答した割合は、関東主要都市・全国主要都市ともに半数を超える結果となりましたが、関東主要都市に比べ、全国的にはまだまだ認知度が低い状況です。

栃木市を知っている割合は、今回調査を行ったすべての地域で、前回調査を上回る結果となっています。

Q 栃木市を知っているか（単数回答）



約 30 ポイント UP!



約 30 ポイント UP!



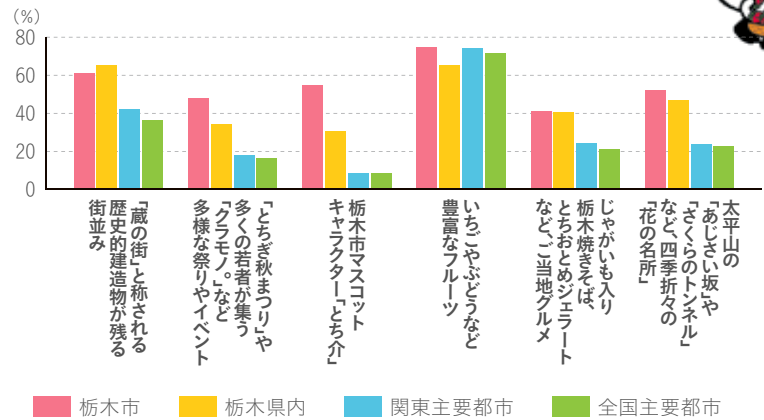
出典：Tochigi City Promotion 2nd アンケート 2019 調査：関東主要都市 (n=3,309)、全国主要都市 (n=3,604)
Tochigi City Promotion 1st アンケート 2016 調査：関東主要都市 (n=6,997)、全国主要都市 (n=1,000)

♥ 「栃木市」に“ある” 魅力は、伝わっている？

市内外ともに、いちご・ぶどうなどの「豊富なフルーツ」や「蔵の街並み」への関心は高いけれど、市民が魅力と感じる「四季の花」や「イベント」が、まだまだ市外の人に伝わっていない？

市内外ともに、いちごぶどうなどのフルーツに魅力を感じる人が一番多く、栃木市をPRするうえで、これらの豊富なフルーツは、とても有効な資源と言えます。

Q 魅力を感じる栃木市の「もの」(複数回答)



出典：Tochigi City Promotion 2nd アンケート
2019 調査：栃木市 (n=600)、栃木県内 (n=4,105)、関東主要都市 (n=3,309)、全国主要都市 (n=3,604)

ホッとひと息



栃木市の魅力を、自分視点で発信する“ゆる栃くらすた”の発進

栃木市の魅力を発信してくれる人たちを「ゆる栃くらすた」と名付け、市民が栃木市の魅力を再認識し、自らがその魅力を発信していけるよう、写真撮影のコツやSNSの利用などに関するレクチャーも交えながら、全4回のワークショップを行いました。



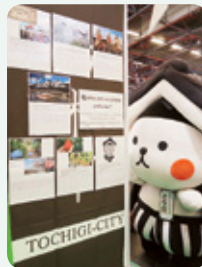
栃木市の魅力さがしのワークショップ



撮影と発信のフィールドワーク

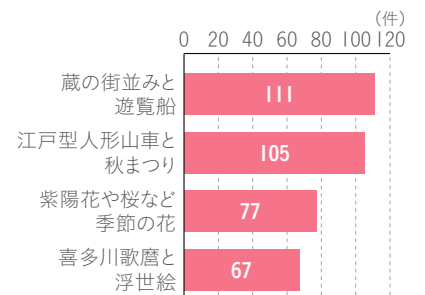
外国人から見た栃木市…

フランスで開催されたJapan Expoに参加し、栃木市の情報発信を行いました。来場者は、蔵の街並みや江戸型人形山車・秋まつり、喜多川歌麿と浮世絵等、日本文化や市内の伝統を感じる「もの」「こと」への関心が高い傾向にありました。



Japan Expo 栃木市ブースの様子

Q Japan Expo 来場者が魅力を感じる「もの」



※上位4つ (n=500)

3. “Creation 2nd”の方向性

“Creation 2nd”の方向性

「Tochigi City Promotion “Creation 2nd”」は、Tochigi City Promotion “Creation 1st”の成果と課題を踏まえて、「行動(アクション)」をテーマとします。

栃木市の魅力を知ってくださったみなさんには、その魅力に触れていただき、栃木市に住んでいるみなさんには、来てくれた人たちをおもてなしの心で迎えていただきたい。

そして、市民一人ひとりのアクションにより、栃木市の“ある”が、これまで以上に磨かれ、まちの魅力の拡大を目指したい、そんな想いを込めています。



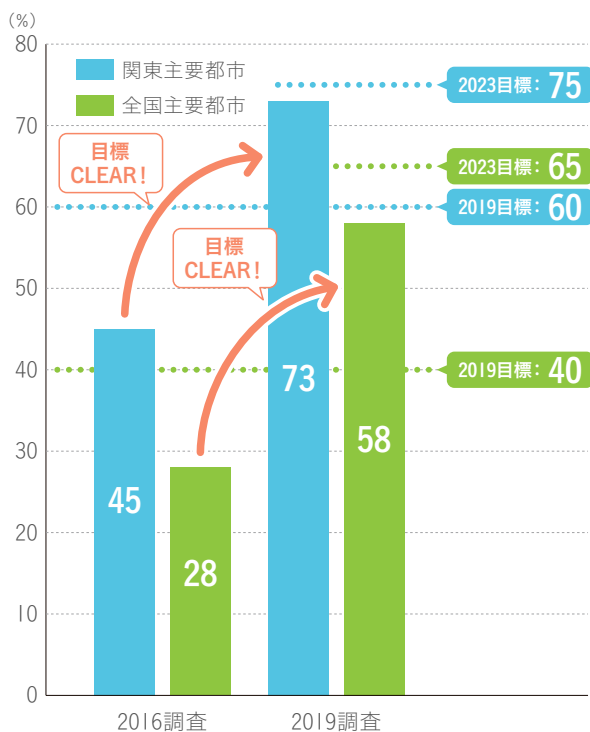
“Creation 2nd”で目指すこと

4つの分野でいろいろな取り組みを進めて、次の目標を達成します。

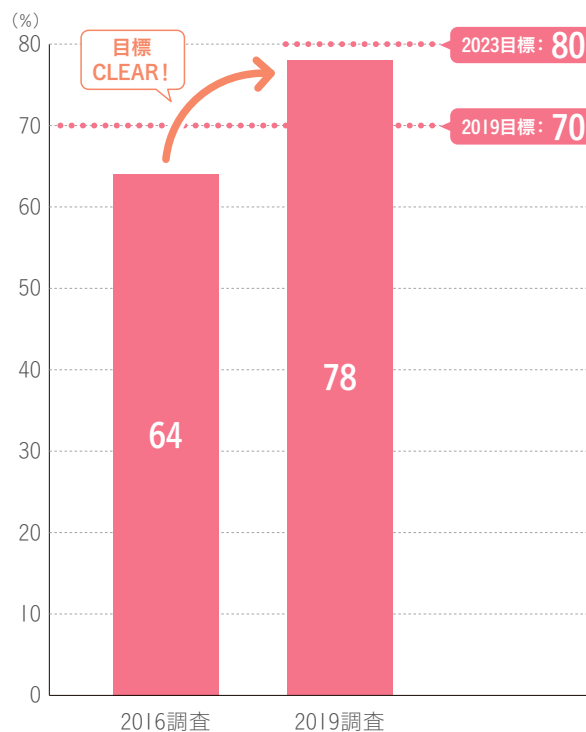


もっとも〜っと色々な人に
栃木市の魅力を知って
もらえるとうれしいな!

栃木市の知名度

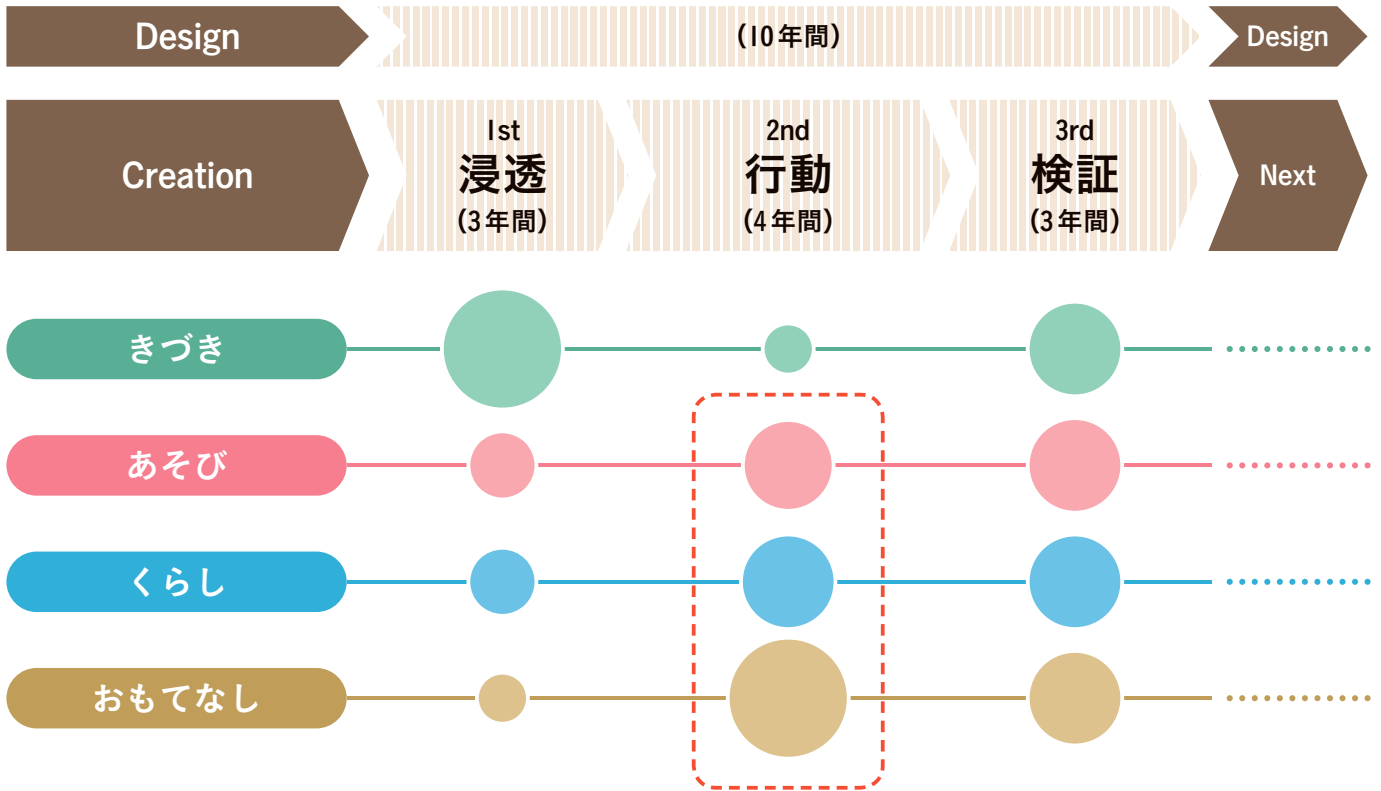


栃木市を好きな市民

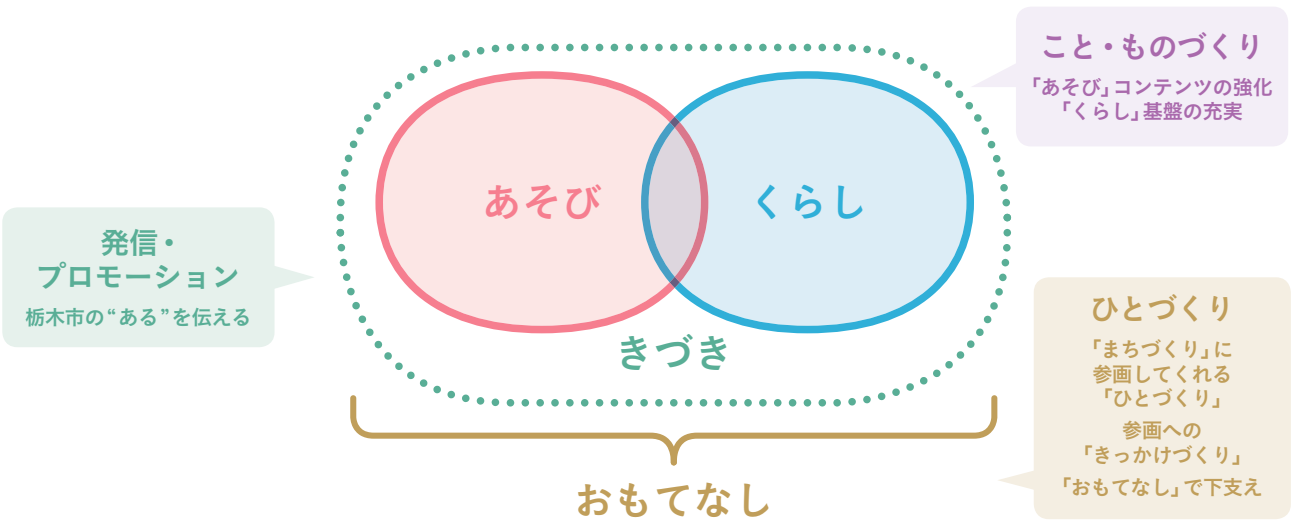


“Creation 2nd” の重点分野

本計画では、“Creation 1st”を引き継ぎ、「きづき」「あそび」「くらし」「おもてなし」の4つの分野の中で、特に「あそび」「くらし」「おもてなし」を重点的に取り組み、栃木市のシティプロモーションを推進していきます。



これまでは「浸透」をテーマに、PR冊子や動画、SNS等を活用し、市内外への情報発信に力を入れてきました。本計画のテーマである「行動」について、求心力のある「あそび」「くらし」のコンテンツ強化を図ります。さらに、それらを強固なものにするために、「あそび」「くらし」を下支えする「おもてなし」に力を入れることで、市民一人ひとりの力で、まちの魅力が拡大していくサイクルの確立を目指します。

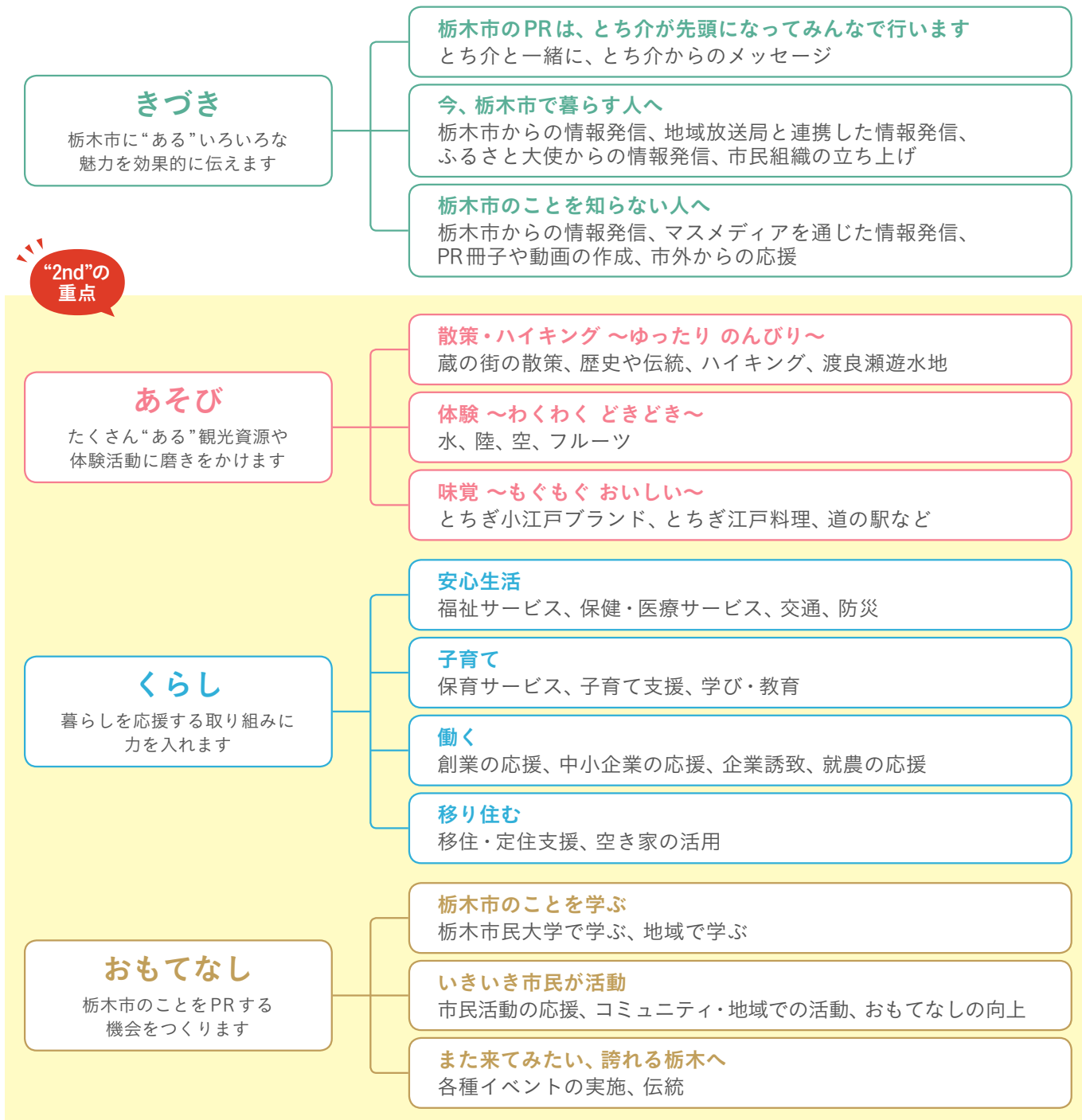


4. アクションプラン

ともに歩み、ともに描く計画へ

本計画は、栃木市と一緒に歩み未来を描く、一人ひとりの行動指針であり、多くの市民に関わってもらい、その行動(アクション)により、ともに育つ計画とします。

そこで、「ある」と「ゆるやか」というキーワードとともに、4つの分野それぞれの魅力拡大を目指します。



アクションプランの見方について

■アクションプラン (P14～25)

大項目

中項目

小項目

「小項目」に関する内容

行政のアクション：
市が取り組む事業の概要や課題、目標等を示し、職員一人ひとりがシティプロモーションの意識を持ちます。

あそび
～気ままに自分らしく～

散策・ハイキング ～ゆったり のんびり～

蔵の街の散策

歴史的な街並みを保存しながら、観光・交流の拠点として活用します。また、山や市街の風景等の貴重な景観品も、とちぎ山車会館やとちぎ蔵の博物館、とちぎ製紙館等で展示するとともに、多くの人に興味を持ってもらえるような企画や講座を開催します。

市民のアクション

- 蔵の街を散策してみましょう。
- とちぎ山車会館を見学し、栃木市の文化や歴史を学んでみましょう。
- 歴史的建造物は適切な維持管理に努め、蔵の街並みを守りましょう。
- 市内各団体の委員会を組織し、ワークショップ等に参加しましょう。

行政のアクション

- 歴史的建造物保存事業 市内の歴史的建造物の管理・保存その他の建築物等の事業を行い、歴史的な街並みの形成に努めます。
- 山車会館等運営事業 江戸型人形山車や関連する資料の収集・調査・展示により、祭りや観光の拠点に努めるとともに、観光情報を発信する「蔵の街」の拠点施設としての機能を果たします。
- とちぎ蔵の博物館 特別公開展示等 市内の貴重な資料で、魅力ある展示会を開催するとともに、講演会、ワークショップ等を実施します。

歴史や伝統

郷土郷土や歴史を伝承・発信し、おもしろい観光資源を開発し、各地域の魅力を伝える取組や、歴史講座やワークショップ、観光見学の企画を実施しながら、栃木市の歴史や伝統に誇りを高めます。

市民のアクション

- 郷土の文化財や歴史的建造物への理解を深めてみましょう。
- 郷土会の組織や体験学習等に参加してみましょう。

行政のアクション

- 郷土郷土館管理運営事業 歴史的な文化財である歴史的建造物や日本伝統的建造物の管理運営に努め、郷土に関する貴重な資料等を展示することで、郷土の歴史を美しく発信に努めます。
- 歴史民俗資料館管理運営事業 各地域の歴史民俗資料等の適切な管理運営に努め、地域に特色ある資料や資料資料等の展示を行います。

市民のアクション：
市民一人ひとりが取り組むことなどを示して、市民レベルでの行動への意識を高めます。

- 蔵の街を散策してみましょう。
- とちぎ山車会館を見学し、栃木市の文化や歴史を学んでみましょう。

できたアクションにはチェックを入れていこう！

■アクションプラン事業一覧 (P27～31)

各分野の全事業を一覧で掲載

資料編 アクションプラン一覧

事業名	内容	事業費(千円)	実施年度(令和)	達成率
あそび ～気ままに自分らしく～				
蔵の街の散策				
歴史的建造物保存事業	市内の歴史的建造物の管理・保存その他の建築物等の事業を行い、歴史的な街並みの形成に努めます。	経費 37万	2021年	100%
山車会館等運営事業	江戸型人形山車や関連する資料の収集・調査・展示により、祭りや観光の拠点に努めるとともに、観光情報を発信する「蔵の街」の拠点施設としての機能を果たします。	経費 26,000円	2021年	100%
とちぎ蔵の博物館 特別公開展示等	市内の貴重な資料で、魅力ある展示会を開催するとともに、講演会、ワークショップ等を実施します。	経費 30,000円	2021年	100%
歴史や伝統				
郷土郷土館管理運営事業	歴史的な文化財である歴史的建造物や日本伝統的建造物の管理運営に努め、郷土に関する貴重な資料等を展示することで、郷土の歴史を美しく発信に努めます。	経費 13,000円	2021年	100%
歴史民俗資料館管理運営事業	各地域の歴史民俗資料等の適切な管理運営に努め、地域に特色ある資料や資料資料等の展示を行います。	経費 30,000円	2021年	100%
ハイキング				
ハイキングコースの整備	自然豊かなハイキングコース、観光地等の整備・管理に努め、観光客の利便性を高めるとともに、観光客の誘致に努めます。	経費 342万円	2021年	100%
観光振興施策(パワートラック)				
観光振興施策(パワートラック)の推進	観光振興施策(パワートラック)の推進に努め、観光客の利便性を高めるとともに、観光客の誘致に努めます。	経費 10,000円	2021年	100%
パワートラックの整備	観光振興施策(パワートラック)の推進に努め、観光客の利便性を高めるとともに、観光客の誘致に努めます。	経費 1,000円	2021年	100%
観光振興施策(パワートラック)の推進	観光振興施策(パワートラック)の推進に努め、観光客の利便性を高めるとともに、観光客の誘致に努めます。	経費 1,000円	2021年	100%

それぞれの事業に対する以下の項目を掲載：
「内容」
「課題・展望等」
「KPI指標(目標値)」

「Tochigi City Promotion “Creation 2nd”」では、各課が進めている事業の目標値を示しています。庁内で連携して実施し、それぞれの目標を達成することで、市が一体となって、栃木市のシティプロモーションを推進していこうという意識を高めます。

あそび

～気ままに自分らしく～

できたアクションには
チェックを
入れていこう！



散策・ハイキング ～ゆったり のんびり～

蔵の街の散策

歴史的な街並みを保存しながら、観光・交流の資源として活用します。また、山車や市ゆかりの芸術家等の貴重な収蔵品を、とちぎ山車会館やとちぎ蔵の街美術館、とちぎ歌麿館等で展示するとともに、多くの人に興味を持ってもらえるような企画展や講座を開催します。

市民の アクション

- 蔵の街を散策してみましょう。
- とちぎ山車会館を見学し、栃木市の文化や歴史を学んでみましょう。
- 伝統的建造物は適切な維持管理に努め、蔵の街並みを守りましょう。
- 市内美術館の展覧会を観覧し、ワークショップ等に参加しましょう。



行政の アクション

事業名	内容
伝統的建造物群保存事業	市内の伝統的建造物の修理・保存やその他の建築物等の修景を行い、歴史的な街並みの形成に努めます。
山車会館管理運営事業	江戸型人形山車や関連する資料の収集・調査・展示により、祭りや郷土芸能の伝承に努めるとともに、観光情報を発信する「蔵の街」の拠点施設としての機能を担います。
とちぎ蔵の街美術館 特別企画展等開催事業	市内の美術館等で、魅力ある展覧会を開催するとともに、講演会、ワークショップ等を実施します。

※とちぎ蔵の街美術館は、2020年に閉館し、新美術館（仮称：文化芸術館）が開館する2022年（予定）までは、休館となります。

歴史や伝統

横山郷土館や藤岡歴史民俗資料館、おおひら歴史民俗資料館等、各地域の歴史を伝える施設や、星野遺跡や下野国庁跡、皆川城址等の史跡を保存しながら、栃木市の歴史や伝統に触れる機会を創出します。

市民の アクション

- 郷土の文化財や歴史的建造物への理解を深めてみましょう。
- 展示会の観覧や体験学習等に参加してみましょう。



行政の アクション

事業名	内容
横山郷土館管理運営事業	登録有形文化財である歴史的建造物や日本庭園の適正な管理運営に努め、横山家に関する貴重な資料等を展示することで、郷土の歴史を末永く後世に伝承します。
歴史民俗資料館等管理運営事業	各地域の歴史民俗資料館等の適正な管理運営に努め、地域に残る歴史資料や民俗資料等の展示を行います。

♡ ハイキング

季節ごとの草花など、“旬”な情報を積極的に発信するとともに、自然歩道やハイキング道、案内板、トイレ等、利用しやすい施設の維持管理に努めます。



市民の アクション

- 自然歩道散策やハイキングを楽しんでみましょう。

行政の アクション

事業名	内容
ハイキングコース管理	自然歩道やハイキング道、関連施設の整備・維持管理を行い、ハイキング客の安全性と快適性の確保に努めます。

♡ 渡良瀬遊水地「ハートランド」

広大な渡良瀬遊水地をぐるりと車で1周するハートランドぐるり旅など、渡良瀬遊水地の魅力を伝える取り組みを行います。また、渡良瀬遊水地のビジターセンターとして整備した渡良瀬遊水地ハートランド城を活用します。



市民の アクション

- 渡良瀬遊水地ハートランド城に「来て見て学んで」、実際に遊水地に出かけてみましょう。
- 渡良瀬遊水地の歴史や役割を現地で学びましょう。

行政の アクション

事業名	内容
渡良瀬遊水地活用促進事業	渡良瀬遊水地ハートランド城を拠点施設として、PRや情報発信を行います。
ハートランドぐるり旅	広大な渡良瀬遊水地の魅力あふれるスポットをバスで周遊し、「渡良瀬遊水地ガイドクラブ」がわかりやすく案内を行います。

体験 ～わくわく どきどき～

♡ 水

渡良瀬遊水地で、カヌー、ボート、ヨット等のウォータースポーツのレジャースポーツリーダー養成を行い、より多くの人が体験できるようにしていくとともに、体験できる環境整備を行います。



市民の アクション

- 「ウォータースポーツ教室」に参加してみましょう。
- ウォータースポーツの体験を通じて遊水地の魅力を伝えましょう。

行政の アクション

事業名	内容
ウォータースポーツ教室開催事業	谷中湖において、ボートやヨット等の教室を開催し、ウォータースポーツの楽しさや渡良瀬遊水地の魅力を発信します。
カヌースタッフ養成講座	谷中湖で行われているカヌー体験をサポートする人材を育成します。

陸

市内各地域の特性を活かして、ウォーキングやマラソン、サイクリング、トライアスロン等、様々なスポーツの体験ができることをPRしていきます。また、関係するプロスポーツ団体との連携や、栃木市出身のアスリートのPRや表彰を行い、スポーツへの関心を高めます。



市民のアクション

- ウォーキングで健康づくりをしながら、栃木市の観光を楽しみましょう。
- 栃木市出身のスポーツ選手を応援しましょう。
- 栃木市に関するプロスポーツ団体を応援しましょう。

行政のアクション

事業名	内容
栃木市ウォーキング大会 開催事業	参加者がウォーキングを楽しみながら、気軽に歴史や観光スポットといった栃木市の地域資源に親しむ大会を開催します。
栃木市出身アスリート応援事業	全国大会や国際大会で活躍をした市内在住や本市出身のスポーツ選手(チーム)のPRや表彰を行うなどの支援を行います。
プロスポーツ連携事業	市及び各プロスポーツ団体が連携し、双方の施設やネットワークなどを活用し、相互効果で、栃木市のスポーツを通じた地域づくりの取り組みを推進します。

空

渡良瀬遊水地で熱気球やスカイダイビング、グライダー等のスカイスportsが楽しめることを事業者と連携してPRしていきます。



市民のアクション

- 栃木市・渡良瀬バルーンレースを体感してみましょう。
- スカイスportsの体験を通じて遊水地の魅力を伝えましょう。

行政のアクション

事業名	内容
熱気球係留スタッフ養成講座	各種イベントで行われている熱気球の係留体験をサポートする人材を育成します。

フルーツ

いちご、ぶどう、なし、ブルーベリー等のフルーツ狩りや農業体験を充実させ、PRしていくとともに、新たな農業の担い手発掘に取り組みます。



市民のアクション

- 季節のフルーツ狩りを体験してみましょう。

行政のアクション

事業名	内容
観光農園支援事業	「いわふねフルーツパーク」で、いちご狩り、ぶどう狩り、なし狩り、ブルーベリー狩り、トマト狩りなど、年間を通じたフルーツ狩りのPR等を支援します。

ホット ひと息



栃木市のいちごで、市も市民もみんなを元気に…

栃木市の2017年度いちご産出額は県内第2位でした。今後若者の新規就農者を増やすため、市農業公社と連携し、いちごの生産に特化した実践研修制度を2020年度から開始します。これからのいちご生産の充実と、いちごを活用した栃木市のPRが期待されます。



味覚 ～もぐもぐ おいしい～

♡ とちぎ小江戸ブランド

ブランド元の事業者と連携・協力し、ふるさと応援寄付制度やコエド市場等を通して、とちぎ小江戸ブランドをPRし、栃木市の認知度を高めるとともに販路拡大にも取り組みます。



市民の アクション

- 栃木の「いいもの（食べ物、特産品、景観、体験、施設等）」をみんなに紹介しましょう。

行政の アクション

事業名	内容
地域ブランド推進事業	本市の農産物や菓子、工芸品等を「小江戸ブランド」として、県内外に広くPRします。

ホッと
ひと息



とちぎ小江戸ブランド

栃木市でしか味わえない食べ物、特産品、体験、施設等をブランドとして位置づけ、季節ごとにテーマを掲げたフリーペーパーの発行やSNS等を活用したPRを行います。



♡ とちぎ江戸料理

江戸時代の情緒や風情が残る「小江戸とちぎ」で、和食の原点である江戸料理の研究を進め、訪れた人が満足する「とちぎ江戸料理」を提供します。

市民の アクション

- 「とちぎ江戸料理」を食べて、みんなに紹介してみましょ。
- 江戸料理を活用した新たなメニューや特産品等を提案してみましょ。

行政の アクション

事業名	内容
とちぎ江戸料理 誘客促進プロジェクト事業	新たな商品の開発支援や既存資源の磨き上げを行うとともに、たくさんの方に楽しんでもらえるように、県内外の観光客や旅行事業者に向けたPRを行います。

♡ 道の駅など

市域の北と南に位置する「道の駅みかも」と「道の駅にしかた」、「いわふねフルーツパーク」等において、地元農産物を活用した新メニューや特産品の開発を進め、地物ならではの“食”に一層の磨きをかけて売り出していきます。



市民の アクション

- 栃木の「いいもの（食べ物、特産品、景観、体験、施設等）」をみんなに紹介しましょう。
- 道の駅や農産物直売所に行ってみましょ。

行政の アクション

事業名	内容
観光情報物産館管理運営	「とちぎ小江戸ブランド」や本市の特産物等の展示販売を行い、観光客の満足度や本市の知名度を向上させます。
道の駅等管理運営事業	民間活力により、道の駅の利用者の満足度やサービス向上を図ります。

くらし

～ほっとするまち～

できたアクションには
チェックを
入れていこう！



安心生活

福祉サービス

高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉の各種サービスなどの充実や包括的な相談支援体制の構築で、すべての人の安心・安全な暮らしを守ります。また、公的サービスだけでは解決できない問題については、地域の様々な人と協力して解決していきます。

市民の アクション

- 地域の中で困っている人に気づけるよう、日頃から地域と関わり、支え合って活動しましょう。
- 認知症を正しく理解し、地域で支えることのできる認知症サポーターになりましょう。
- 障がい者週間や交流イベントを通じて、障がい者に対する理解を深めましょう。

行政の アクション

事業名	内容
多機関協働包括的支援体制構築事業	各世帯が抱える様々な課題に、相談機関が連携し、包括的な相談支援を行います。
認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の方やその家族が安心して暮らせる、認知症にやさしいまちをつくれます。
栃木市くらしだいジネット(障がい児者相談支援事業)	障がいのある方が地域で安心して暮らしていけるよう、相談機能の強化や緊急時の支援、一人暮らし体験の場の提供等を行います。

保健・医療サービス

各種健康診査・検診で早い段階から病気の予防や発見に努め、健康な生活が送れるように応援します。また、とちぎメディカルセンターをはじめとした地域の中心となる病院と急患センターが連携を図りながら、休日・夜間診療体制を維持します。



市民の アクション

- 気軽に相談に乗ってもらえる、かかりつけ医を持ちましょう。

行政の アクション

事業名	内容
急患センター管理運営委託事業	市民が安心して暮らせるよう、休日及び夜間に軽症急病患者を受け入れる栃木地区急患センターを管理運営します。

交通

ふれあいバスや蔵タクの移動手段について、多くの人が利用しやすくなるよう見直しをしながら運行していきます。

市民の アクション

- ふれあいバスや蔵タクを利用してみましょう。

行政の アクション

事業名	内容
ふれあいバス運行事業	「通勤・通学・観光」の足として、コミュニティバスを運行します。
蔵タク運行事業	高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保と公共交通空白地域の解消を図るため、市内全域でデマンドタクシーを運行します。

防災

これまでの災害の教訓を活かし、災害に備えた非常食や水の備蓄、防災訓練の実施、災害情報等の発信体制や災害への対応能力を強化します。また、市在住外国人へ多言語での情報発信を強化します。さらに、自主防災組織や消防団等、地域の活動を応援し、市民の防災に対する意識を高めます。

市民のアクション

- いざという時に備え、避難経路や情報の入手方法などを確認しましょう。
- 防災ラジオや緊急防災情報伝達システム等、緊急時の情報入手手段の確保に努めましょう。

行政のアクション

事業名	内容
防災組織の育成強化	地域における防災組織の育成強化を図るとともに、防災組織と普段からの連携を深めることで、災害時に、適切な行動を実現できる体制の構築を図ることを目指します。
防災体制の強化	災害発生直後の緊急対応力の強化を図り、人・物・情報を効率的に管理することで、一体的に機能する災害に強い防災体制の強化を図ります。
防災ハザードマップの周知	過去の災害被害を教訓とし、防災ハザードマップを活用し、防災に関する知識や自身で可能な災害対策・事前準備等の情報を広く発信し、災害に強い市民を育成します。

子育て

保育サービス

保護者が働いているなどの理由で子どもを保育できない場合、保育園、認定こども園、学童保育等が保護者に代わって保育します。また、一時預かりや病児・病後児保育等、保護者のニーズに合わせた多様な保育サービスを行います。



市民のアクション

- お子さんの子育ての悩みなどを相談しましょう。

行政のアクション

事業名	内容
保育所・認定こども園等施設整備事業	老朽化した園舎の改築等の施設整備を行うため、整備に関わる費用の一部を補助し、良好な保育環境の整備を進めます。
学童保育事業	家庭での保護指導を受けられない小学校児童に対し、学童保育を実施します。
病児・病後児保育事業	子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合、保育所等において病気の児童を一時的に保育します。

子育て支援

気軽に医師や臨床心理士等の専門家に相談できる「こどもサポートセンター」をはじめ、妊娠・出産・子育てにおけるライフステージに応じて、サポートチーム(専門スタッフ)やコーディネーターを中心に、18歳まで切れ目なく包括的な支援を行います。また、家庭相談員や養育支援員、母子・父子自立支援員を配置し、子どもや家庭の状況に応じた支援を行います。

市民のアクション

- こどもサポートセンターが開催する講座やイベント等に参加してみましょう。
- 妊娠・出産・子育てのことで悩んだら、「すこやか子育て相談室」に相談してみましょう。
- 子どもの不自然な傷・表情、保護者の不自然な言動など気になることがあった場合は相談しましょう。

行政の アクション

事業名	内容
こどもサポートセンター事業	発達の遅れや心の成長に課題のある子どもたちに専門的アセスメントのもと、「医療」「保健」「福祉」「教育」等、関係機関との連携を図り継続的な相談・支援を行います。
子育て世代包括支援センター事業	妊娠期から切れ目ない支援を提供するため、妊娠、出産、育児に関する相談支援から、発達障がい、児童虐待等の包括的な課題に対して継続的な相談支援を行います。
家庭児童相談事業	家庭相談員が、子ども(0歳～17歳)とその家族が抱える様々な悩みについて相談を行います。

学び・教育

外国語指導助手の配置、とちぎ未来アシストネットの活用等により、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導・支援を行うとともに、小学校から中学校へ進学する子どもたちの状況を共有し合うことを通して、「中1ギャップ」の解消を図り、子どもたちの「生きる力」を育むため、小中一貫性のある教育を市内全中学校区で実施していきます。



市民の アクション

- 学校支援ボランティアに参加しましょう。
- 学校、家庭、地域の連携を強化しましょう。

行政の アクション

事業名	内容
グローバル教育推進事業	市内の学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上と多様な文化を尊重できる人材を育成します。
小中一貫教育推進事業	市内すべての学校で小中一貫教育に取り組み、子どもたちの「生きる力」の育成に努めます。
とちぎ未来アシストネット事業	学校、家庭、地域のつなぎ役となる、コーディネーターや学校支援ボランティアを発掘・養成し、地域の活性化・絆づくりを図ります。

働く

創業の応援

優秀な創業計画を表彰する「ビジネスプランコンテスト」、新規創業者のネットワークづくり、空き店舗活用支援、制度融資などを実施し、創業意欲のある方や新しいアイデアをお持ちの方を応援します。

市民の アクション

- 栃木市で実現したいビジネスプランや創業の予定があれば、相談してみましょう。
- 市内の空き店舗の情報を提供し、活用を想像しましょう。

行政の アクション

事業名	内容
ビジネスプランコンテスト事業	本市で創業を目指す方からビジネスプランを募集し、事業化支援としてセミナー等の開催や、優秀なプランへ奨励金を贈呈します。
中小企業融資・保証事業	企業の資金繰りの円滑化を支援するとともに、信用保証料を補助します。

♥ 中小企業の応援

産業財産権取得費補助などによる経営支援、商工会議所や商工会等、関係団体の運営支援を行います。また、空き店舗活用支援や新製品・新技術の研究開発等を支援するとともに、勤労者の福利厚生のための事業を実施するなど、地域経済や雇用を支える中小企業・小規模企業を応援します。

市民のアクション

- 安心して働ける明るい職場をつくりましょう。
- 新製品・新技術開発に取り組んでみましょう。

行政のアクション

事業名	内容
産業支援補助事業	市内の空き店舗を活用して新規開業する際の費用や、新製品・新技術の研究開発費、産業財産権の取得費の一部を補助します。
就業安定対策事業	市内事業所の人材の確保と、新規学卒者及び再就職者等に向けた合同就職面接会等を開催します。
勤労者福祉サービスセンター支援事業	栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、総合的な福利厚生事業を実施します。

♥ 企業誘致

多くの市民の雇用を生み出す優良な企業を誘致するため、立地環境のPRや企業への手厚い優遇制度を活用して、市内産業団地等に積極的な企業誘致を行います。また、栃木市内3か所のインターチェンジ周辺について、高速道の結節点を活かした産業団地の整備を計画的に進めます。

市民のアクション

- 栃木市で働き、生活し、市の将来を担いましょう。

行政のアクション

事業名	内容
企業誘致事業	企業の新規立地や移転に関する情報を収集し、企業訪問や支援制度により企業誘致を進めます。
市内インター周辺開発事業	栃木インターや都賀インター周辺の区域に新たな産業団地の造成を行えるよう、地域や国・県との話し合いを進め、産業の活性化や雇用機会の創出を目指します。

♥ 就農の応援

農業体験などのグリーンツーリズムを通じて、豊富な農産物の魅力を発信するとともに、新規就農を目指す若者を積極的に支援します。

市民のアクション

- 地元産の安全安心な農産物を購入し、地産地消を実践しましょう。
- 新規就農者の仲間の輪を広げましょう。



行政のアクション

事業名	内容
新規就農支援事業	県内外から若い新規就農者の確保を積極的に進めます。
都市農村交流事業	農業体験などのグリーンツーリズムを通し、農業の魅力や食の安全安心、本市の農畜産物を体感してもらいます。

移り住む

♥ 移住・定住支援

住みたい田舎ベストランキングにおける知名度向上の機運を活かし、移住定住促進ツアーの実施や移住体験施設の利用促進などにより、栃木市への移住を考えている方を応援します。さらに、家を新築・購入した場合、まちなか定住促進住宅新築等補助金等の補助制度により定住を支援します。



市民のアクション

- 栃木市に移住された方に気持ちよく暮らしていただけるよう助け合いましょう。
- 自治会や近所づきあいなどで顔見知りの関係をつくりましょう。

行政のアクション

事業名	内容
住宅取得補助事業	住宅を新築又は購入した方に対し補助金を交付し、まちなかにおける定住人口の増加と活性化を図ります。
移住体験施設運営事業	空き家を活用した移住体験施設を運営し、本市の生活・魅力を実感してもらうことで、本市への定住を図ります。
栃木市移住支援事業	東京23区にお住まいの方や東京圏から23区に通勤する方が、本市へ移住し、県のマッチングサイトに掲載されている企業に就業した場合等に移住支援補助金を交付します。

ホッとひと息



住みたい田舎ベストランキング上位を継続中！

宝島社「田舎暮らしの本」のベストランキングで、2017年から2020年まで、4年連続で、栃木市が上位に選ばれています！

	2016年版 平成27年度	2017年版 平成28年度	2018年版 平成29年度	2019年版 平成30年度	2020年版 令和元年度
北関東エリア	2	2	👑1	👑1	👑1
子育て世代部門	ランク外	👑1	2	👑1	5
若者世代部門	ランク外	👑1	👑1	2	22
シニア世代部門	ランク外	4	2	3	8
総合部門	51	13	3	2	5
参加自治体数	574	500	671	663	629



♥ 空き家の活用

利活用可能な空き家について、栃木市空き家バンク制度「あったか住まいるバンク」への登録を促し、全国の空き家を探している人に専用ホームページで情報を発信します。また、「あったか住まいるバンク」を活用した場合、リフォーム補助金の補助制度により綺麗で気持ちよい住まいづくりを応援します。

市民のアクション

- 一軒でも空き家を抑制できるよう、空き家の早期発見に努めましょう。
- 利活用可能な物件所有者は登録をしましょう。

行政のアクション

事業名	内容
あったか住まいるバンク事業	利活用可能な空き家・空き地をウェブ上で公開し、利用希望者とのマッチングを行います。

お も て な し

～みんなで力をあわせて～

できたアクションには
チェックを
入れていこう！



栃木市のことを学ぶ

栃木市民大学で学ぶ

栃木市の「郷土」や「まちづくり」等の4つの分野について学ぶ「栃木市民大学」を開催し、学びを通じた受講生同士の交流や仲間づくりの機会を提供します。



市民の アクション

- 学びの成果を地域で活かしましょう。
- 受講生同士で交流し、仲間づくりの場を活用しましょう。

行政の アクション

事業名	内容
栃木市民大学事業	市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、学びを通じた出会い・交流・仲間づくりの場を提供し、学習成果を活用する環境づくりを図ります。

地域で学ぶ

地域で活動する団体を応援します。また、環境学習リーダーや文化マイスター、ボランティアガイド、地域おこし協力隊等、地域で学び、伝える人を増やします。

市民の アクション

- 講座に参加して、その内容を多くの人に広めましょう。
- 講座の参加者同士が交流し、仲間をつくりましょう。
- 渡良瀬遊水地等、地域の魅力を多くの人に伝えましょう。

行政の アクション

事業名	内容
社会教育学級・講座等開催事業	青少年・女性・高齢者等を対象とした各種学級講座を開設し、人権や教育・文化等の学習の場を提供します。
ヨシ細工指導スタッフ養成講座	地場産業であるヨシズの原料であるヨシを活用し、ミニヨシズ編みなどの体験をサポートする人材を育成します。
渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座	遊水地の成り立ちや自然環境等を学習し、ボランティアで遊水地を案内する「渡良瀬遊水地ガイド」として活動する人材を育成します。

ホッと
ひと息



栃木市に新しい風を吹かせる地域おこし協力隊の活躍

栃木市の地域おこし協力隊は、市の新たな地域資源の発掘やその魅力発信、各種イベントの開催など、地域を盛り上げる様々な活動を行っています。また、美しい歴史的町並みを活かした地域の活性化やUITターンによる移住者と地域住民の交流イベントを主催するなど、新旧住民をつなぐ役割も担っています。



いきいき市民が活動

市民活動の応援

市民活動推進事業費補助金(とちぎ夢ファーレ)や市民活動補償保険への加入などにより、様々な市民活動を応援します。

市民の アクション

- 実績報告会に参加してみましょう。
- 身近な課題の解決に協働して取り組みましょう。

行政の アクション

事業名	内容
市民活動推進補助事業	市民活動を支援するため、市民団体の社会貢献に関する事業に対して補助金を交付します。
市民活動補償保険事業	市内に活動の拠点を置く市民団体が、市民活動中に起きた事故に対して補償を行います。

コミュニティ・地域での活動

各地域の地域会議では身近な地域のまちづくりについて協議します。また、地域で学んだ人がコミュニティ推進協議会やまちづくり実働組織に加入して活動するなど、地域の独自性を活かした活動を応援し、学びと実践の連携を深めます。

市民の アクション

- 地域の身近な課題について考えてみましょう。
- 地域の実働組織の活動に参加してみましょう。

行政の アクション

事業名	内容
地域づくり応援補助金事業	「まちづくり実働組織」が企画、立案した地域に有益な取り組みを実施するための経費を補助します。
地域予算提案制度事業	市内の自治会や地域会議、地域まちづくりセンターの協力によって集約された意見を、市の予算に的確に反映させます。

おもてなしの向上

観光客に心地よく過ごしてもらい、栃木市のよさを知って好きになってもらうため、市全体でおもてなしの向上が図れるよう、講習会を開催し、ホームページ等でおもてなしの情報を発信します。

市民の アクション

- 住んでいる地域の観光資源について考えてみましょう。
- 栃木市を訪れた方に笑顔で挨拶してみましょう。

行政の アクション

事業名	内容
観光まちづくり事業	市民が中心となるまちづくり団体を設置し、観光資源の発掘・磨き上げや「おもてなし」の意識醸成を高めます。

ホッと
ひと息



栃木市の観光を支える、頼もしいボランティアのみなさん

1988年(昭和63年)に設立された「栃木市観光ボランティア協会」は、2019年現在、31名の観光ボランティアガイドが活動しています。赤い服がトレードマークで、蔵の街を中心におもてなしの心で観光客を案内しています。栃木県内の観光ボランティア団体の中でも1番の活動回数と案内人数を誇り、栃木市の顔として、日々おもてなしの向上のために活躍しています。



また来てみたい、誇れる栃木へ

♥ 各種イベントの実施

とちぎ秋まつり、歌麿まつり、渡良瀬遊水地フェスティバル等、各地域のイベント開催を応援します。また、市民や来訪者が体験できる機会を増やし、イベント参加者の交流を通じて、市民の郷土愛や来訪者をもてなす心を醸成し、また来てみたい、誇れる栃木市をつくっていきます。



市民の アクション

- 「とちぎ秋まつり」に参加してみましょう。
- 「歌麿まつり」に参加してみましょう。
- 「渡良瀬遊水地フェスティバル」に参加して、遊水地の魅力やルール、マナーを学びましょう。

行政の アクション

事業名	内容
とちぎ秋まつり開催事業	本市最大の観光誘客イベントである「とちぎ秋まつり」を市内関係団体と協力して開催します。
歌麿を活かしたまちづくり事業	歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、市民団体との協働により、「歌麿まつり」の開催など様々な取り組みを実施します。
渡良瀬遊水地フェスティバル	スカイダイビングや熱気球、カヌーやボート、自転車等の体験ができるイベントを通じて、渡良瀬遊水地への関心を高めます。

♥ 伝統

着物の着付け、和菓子づくり、ヨシ細工体験など、日本の伝統文化を感じながら、楽しめる体験ができることをPRしていきます。



市民の アクション

- 市民団体が企画する着物着付けイベント等、栃木市の中で、日本の伝統文化を感じることができる体験に参加してみましょう。

行政の アクション

事業名	内容
ヨシ細工体験	ミニヨシズやヨシ紙すき、ヨシ灯りづくりなど遊水地のヨシを活用した体験を通して、ヨシ焼きや自然環境等の理解を深めます。

ホッと
ひと息

栃木市で体験できる日本の伝統文化

栃木市では、着物の着付けや和菓子づくり体験、遊覧船、滝行等、日本の伝統文化を感じることができる様々な体験ができます。最近では、外国人観光客も訪れ、本市での体験を満喫しています。



着物の着付け・和菓子づくり体験



遊覧船(巴波川)



滝行(出流山満願寺)

5. 推進に向けて

市民一人ひとりが、自分たちが暮らす地域に興味・関心を持ち、居心地のよい地域を自分たちの手でつくっていくことで、地域への愛着が深まります。

市内外から「栃木市って、なんだかいんだよなあ」と認められる、ゆるやかな地域の実現に向けて、市民と行政が一体となり、栃木市のシティプロモーションに取り組みます。



市民 の役割

- 市民活動や地域のイベントに積極的に参加します
- 栃木市の魅力を再認識し、周りの人に伝えます
- おもてなしの心を持ち、様々な交流やふれあいを図ります

団体・民間企業等 の役割

※市内事業者、NPO法人、
市民団体、民間企業等

- 団体や企業活動を通じて、栃木市の活性化に努めます
- ロゴやキャッチフレーズ等を積極的に活用し、魅力を発信します

行政 の役割

- 市民のみなさんが地域に興味・関心を持てるよう、情報提供や活動に参加するきっかけや仲間づくりなどのシティプロモーションの基盤整備に取り組みます
- 市内で活動するみなさんの声に耳を傾け、積極的に支援します
- マーケティング分析に基づく戦略的なプロモーションに努めます
- 職員一人ひとりが率先して、栃木市の魅力発信に努めます

資料編 アクションプラン一覧

出典の凡例	総計：栃木市総合計画《後期基本計画》 文化：栃木市文化振興計画《改訂版》 教育：栃木市教育計画 スポ：栃木市スポーツマスタープラン	渡良瀬：渡良瀬遊水地ハートランドプラン 地改：経営構造対策事業地区改善計画 定住：栃木市定住自立圏共生ビジョン 子ども：栃木市子ども・子育て支援事業計画	総戦：栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略 企業：栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン
-------	--	---	---

(計画書名・掲載順)

あ そ び ～気ままに自分らしく～

事業名	内容	課題・展望等	KPI指標(目標値)		
			項目名	2022年	出典
●蔵の街の散策					
伝統的建造物群保存事業	市内の伝統的建造物の修理・保存やその他の建築物等の修景を行い、歴史的な街並みを形成する。	伝統的建造物等の修理・修景は順調に進捗しているものの、伝建地区の魅力を発信する手段が不足しており、情報発信手段の検討と整備が必要となっている。	伝統的建造物等補助件数	57件	総計
山車会館管理運営事業	江戸型人形山車や関連する資料の収集・調査・展示により、祭りや郷土芸能の伝承に努め、観光情報を発信する「蔵の街」の拠点施設としての機能も担う。	施設の維持管理コストの捻出や外国人観光客への対応が課題となっている。	年間入館者数	26,000人	-
とちぎ蔵の街美術館特別企画展等開催事業	市内の美術館等で、魅力ある展覧会を開催するとともに、講演会、ワークショップ等を実施する。	蔵の街大通りからの誘客を図り、来館者の回遊性を推進する企画展等を開催する。	美術館等入場者数	30,000人	総計
●歴史や伝統					
横山郷土館管理運営事業	登録有形文化財である歴史的建造物や日本庭園の適正な管理運営に努め、横山家に関する貴重な資料等を展示し、郷土の歴史を末永く後世に伝承する。	郷土館の特性を活かした自主事業を継続的に実施していく。施設の老朽化が進んでおり、大規模な改修も大きな課題となっている。	年間入館者数	13,000人	総計
歴史民俗資料館等管理運営事業	各地域の歴史民俗資料館等の適正な管理運営に努め、地域に残る歴史資料や民俗資料等の展示を行う。	施設の老朽化により計画的な修繕が必要である。昔の農具等の展示品をメンテナンスするなど、体験学習等の充実を図る。	文化財施設入館者数	20,000人	文化
●ハイキング					
ハイキングコース管理	自然歩道やハイキング道、関連施設の整備・維持管理を行い、ハイキング客の安全性と快適性の確保に努める。	関連施設の維持管理について、費用対効果を踏まえた検討を進める。	年間利用者数	340万人	総計
●渡良瀬遊水地「ハートランド」					
渡良瀬遊水地活用促進事業	渡良瀬遊水地ハートランド城を拠点施設として、PRや情報発信を行う。	遊水地の認知度向上のため、来館者以外にも遊水地の役割などを学べる環境教育施設として周知を行う。	年間来場者数	10,000人	-
ハートランドぐるり旅	広大な渡良瀬遊水地の魅力あふれるスポットをバスで周遊し、「渡良瀬遊水地ガイドクラブ」がわかりやすく案内する。	渡良瀬遊水地の成り立ちや自然環境をガイドがわかりやすく説明し、ハートの谷中湖を含めた遊水地全体の理解を深める。	洪水調節機能を学び、住民の安心安全な暮らしを守る遊水地への理解促進を図ります。		
●水					
ウォータースポーツ教室開催事業	谷中湖において、ボートやヨット等の教室を開催し、ウォータースポーツの楽しさや渡良瀬遊水地の魅力を発信する。	渡良瀬遊水地にてウォータースポーツを楽しむ仕組みをつくり、2022年栃木国体の本市開催競技(ボート・カヌー)の普及に努める。	教室参加者数	100人	教育 スポ 渡良瀬
カヌースタッフ養成講座	谷中湖で行われているカヌー体験をサポートする人材を育成する。	渡良瀬遊水地フェスティバルや谷中湖等で行われるイベント時にスタッフとして体験のサポートを行っていく。			
●陸					
栃木市ウォーキング大会開催事業	参加者がウォーキングを楽しみながら、気軽に歴史や観光スポットといった栃木市の地域資源に親しむ大会を開催する。	参加者が継続的な楽しみ方ができるよう、ゲストの招聘やコースの見直しを行う。	大会参加者数 大会参加者満足度	1,000人 95%	教育 スポ
栃木市出身アスリート応援事業	全国大会や国際大会で活躍をした市内在住や本市出身のスポーツ選手(チーム)のPRや表彰を行うなどの支援を行う。	成績や活動などの情報について、市及び関係団体のSNS等により、一体となったPRや表彰を行う。	年間市民応援団参加者数	1,000人	教育 スポ

事業名	内容	課題・展望等	KPI 指標 (目標値)		
			項目名	2022年	出典
プロスポーツ連携事業	市および各プロスポーツ団体が連携し、双方の施設やネットワーク等を活用し、相互効果で、栃木市のスポーツを通じた地域づくりの取り組みを推進する。	市と関係するプロスポーツチームはサッカーや野球等があるが、認知度が低く、連携が不十分で、活用が図られていないため、認知度を向上させ、連携を深める必要がある。	年間 市民応援団 参加者数	1,000人	教育 スポ
●空					
熱気球係留スタッフ養成講座	各種イベントで行われている熱気球の係留体験をサポートする人材を育成する。	渡良瀬遊水地フェスティバルや市内外で行われるイベント時にスタッフとして体験のサポートを行う。		遊水地へのおもてなしにおける人材を育成します。	
●フルーツ					
観光農園支援事業	「いわふねフルーツパーク」で、いちご狩り、ぶどう狩り、なし狩り、ブルーベリー狩り、トマト狩りなど、年間を通じたフルーツ狩りのPR等を支援する。	「とちぎ花センター」等の周辺施設とのイベント開催等に取り組み、新規就農希望者、女性や高齢者等、担い手の育成を支援する。	年間 利用者数	137,200人	地改
●とちぎ小江戸ブランド					
地域ブランド推進事業	本市の農産物や菓子、工芸品等を「小江戸ブランド」として、県内外に広くPRする。	フリーペーパーの発行やSNS等を活用し、市内外に向け効果的なPRを行い、誘客促進を図るとともに、市民への認知度を高める。	コエド市場 年間来客者数	110,000人	総計
●とちぎ江戸料理					
とちぎ江戸料理誘客促進プロジェクト事業	新たな商品の開発支援や既存資源の磨き上げを行うとともに、たくさんの方々に楽しんでもらえるように、県内外の観光客や旅行事業者に向けたPRを行う。	「とちぎ江戸料理」の普及に向け、参加店や料理の充実とPRに努めるとともに、「とちぎ江戸料理」を活用した外国人観光客の誘致及び受入体制の整備を進める。	外国人宿泊数 年間入込数	2,500人	総計
●道の駅など					
観光情報物産館管理運営	「とちぎ小江戸ブランド」や本市の特産物等の展示販売を行い、観光客の満足度や本市の知名度を向上させる。	平成31年度より導入した指定管理者制度により、効率的な施設運営と、より効果的な観光情報発信及びPRを進める。	コエド市場 年間来客者数	110,000人	総計
道の駅等管理運営事業	民間活力により、道の駅の利用者の満足度やサービス向上を図る。	周辺の施設と連携した、新たな集客イベントの企画と、新メニューを開発し利用者の要望に応じた適正な管理を行う。		地域の農畜産物を活用した新メニューを開発します。	

味覚くもぐもぐおいしい

くらし ～ほっとするまち～

事業名	内容	課題・展望等	KPI 指標 (目標値)		
			項目名	2022年	出典
●福祉サービス					
多機関協働包括的支援体制構築事業	複合的な課題を抱える世帯等に対して、相談機関が連携し、横断的かつ包括的な相談支援を行う。	市民の福祉課題を早期発見し、支援に繋げる地域ネットワークの構築に取り組み、全世代型地域包括ケアの相談体制の構築を目指す。		相談支援窓口満足度 福祉関係者の相談支援窓口に対する満足度 相談支援包括化推進員ネットワーク構築関係機関数	
認知症にやさしいまちづくり事業	認知症の方やその家族が安心して暮らせる、認知症にやさしいまちをつくる。	認知症になっても地域で暮らし続けるために、理解促進や早期発見・対応の相談支援体制の充実及び徘徊による第三者事故に対する損害補償制度の創設を進める。		認知症の本人と家族が安心して暮らせるまちとを感じる市民割合 初期認知症に関する相談件数	
栃木市くらしだいいネット(障がい児者相談支援事業)	障がいのある方が地域で安心して暮らしていけるよう、相談機能の強化や緊急時支援、一人暮らしを体験する場の提供等を行う。	多様化・複雑化する課題に対応するため、専門的人材の育成や、事業所間の連携強化等、支援体制の充実を図るとともに、本事業のさらなる周知を図る。	くらしだいいネット登録者数	230人	-
●保健・医療サービス					
急患センター管理運営委託事業	市民が安心して暮らせるよう、休日及び夜間に軽症急病患者を受け入れる栃木地区急患センターを管理運営する。	市と栃木市医師会、とちぎメディカルセンターで、地域医療充実と救急医療向上のため定期的に協議を行う。	急患センター開設日数	365日	定住

安心生活

事業名	内容	課題・展望等	KPI指標(目標値)		
			項目名	2022年	出典
●交通					
ふれあいバス運行事業	「通勤・通学・観光」の足として、コミュニティバスを運行する。	利用者は徐々に増加しているが目標には達しておらず、収支率も県内下位に留まっているため、路線の見直しや蔵タクとの役割分担の明確化を進める。	ふれあいバス延べ利用者数	295,000人	総計
蔵タク運行事業	高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保と公共交通空白地域の解消を図るため、市内全域でデマンドタクシーを運行する。	乗合率が低く、実利用者数も頭打ちとなる一方で、運転手の確保も困難である。ふれあいバスとの役割分担を明確にする必要がある。	蔵タク延べ利用者数	62,000人	総計
●防災					
防災組織の育成強化	地域における防災組織の育成強化を図り、これら防災組織との連携を深めることにより、災害時に、適切な行動を実現できる体制の構築を図ることを目指す。	防災組織に関わる人材の発掘、育成が課題であり、災害時の教訓や市民の助け合いの姿を広く発信していくことが必要となる。	自主防災組織の組織数	100組織	総計
防災体制の強化	災害発生直後の緊急対応力の強化を図り、人・物・情報を効率的に管理することで、一体的に機能する災害に強い防災体制の強化を図る。	災害対応能力の向上を図る行政職員等の研修教育の充実や災害時に求められる情報収集伝達、備蓄、医療や生活物資等の調達等の諸活動体制を整備していく。	研修・訓練受講率	100%	-
防災ハザードマップの周知	過去の災害を教訓とし、防災ハザードマップを活用し、防災の知識や自身で可能な対策・事前準備に関する情報を広く発信し、災害に強い市民の育成を目指す。	国や県との連携を図り、過去の災害の被災状況を踏まえ、必要に応じて見直しを行っていく。	ハザードマップ各戸配布率	100%	-
●保育サービス					
保育所・認定こども園等施設整備事業	老朽化した園舎の改築等にあたり、整備に係る費用の一部を補助し、良好な保育環境の整備を図る。	国・県の補助金を活用するため、事業スケジュールや手続き関係において制約が生じている。事業が滞りなくできるような事業者に対しての指導・助言を行う。	市内保育施設の利用定員数	3,111人	総計
学童保育事業	家庭での保護指導を受けられない小学校児童に対し、学童保育を実施する。	待機児童を出さないよう施設の拡充を図る必要がある。また、多様化するニーズに対応し、特色ある保育内容の充実を図るため民間活力の導入を進める。	学童保育利用者数	2,100人	総計
病児・病後児保育事業	子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合、保育所等において病気の児童を一時的に保育する。	対象児童を、乳幼児～小学校3年生までから、小学校6年生に引き上げを検討する。	病児・病後児保育事業等提供箇所数	4か所	子ども
●子育て支援					
こどもサポートセンター事業	発達の遅れや心の成長に課題のある子どもたちに専門的アセスメントのもと継続的な相談・支援を行う。	発達障がい等を背景とした不登校や自傷の相談が増えており、関係機関との更なる連携が求められる。	マイサポートチーム登録者数	1,000人 (2024年度)	子ども
子育て世代包括支援センター事業	妊娠から切れ目ない支援を提供するため、出産や育児に関する相談支援に加え、発達障がい等の包括的な課題に対しても継続的な相談支援を行う。	相談者も増加し、要支援者を早期に支援できるようになった。今後は関係機関との連携を図り、業務の充実を目指す。	妊娠届出時面接率	100%	総計
			個別支援プラン作成率	100%	総計
家庭児童相談事業	家庭相談員が、子ども(0歳～17歳)とその家族の悩みについて相談を行う。	相談内容は多様化し、件数も増加傾向にあるため、関係機関と連携を図りながら迅速に対応する必要がある。	相談延件数	4,600件	子ども
●学び・教育					
グローバル教育推進事業	市内の学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上と多様な文化を尊重できる人材を育成する。	市独自の外国語科活動プラン集の作成や、小学校に複数のALTが訪問するグローバルデーの開催等により外国語教育の充実を図る。	小学校におけるグローバルデーの児童満足度	90%	-
小中一貫教育推進事業	市内すべての学校で小中一貫教育に取り組み、子どもたちの「生きる力」の育成に努める。	中学校区ごとに、目指す子ども像や重点目標を設定し、学校や家庭、地域が連携し、地域ぐるみで小中一貫教育を推進する。	小中一貫教育重点目標達成率	85%	総計
とちぎ未来アシストネット事業	学校、家庭、地域のつなぎ役となる、コーディネーターや学校支援ボランティアを発掘・養成し、地域の活性化・絆づくりを図る。	学校と地域の連携と同様に、保護者等との連携強化が課題である。教育活動に地域の教育力を活かすため、今後とも地域教育協議会と学校運営協議会の連携を図る。	交流会参加者数	250人	総計

事業名	内容	課題・展望等	KPI 指標 (目標値)			
			項目名	2022年	出典	
働く	●創業の応援					
	ビジネスプランコンテスト事業	本市で創業を目指す方からビジネスプランを募集し、事業化支援としてセミナー等の開催や、優秀なプランへ奨励金を贈呈する。	市や関係機関で実施している各種創業支援策と連携し、創業後のフォローアップも含めたトータル的な支援を図る。さらに、第二創業等へ対象者の拡大を検討する。	受賞者による新規創業者数	20人	総計
	中小企業融資・保証事業	企業の資金繰りの円滑化を支援するとともに、信用保証料を補助する。	景況や資金需要の把握に努め、必要に応じて制度の見直しを検討する。	資金等融資件数	2,200件	総戦
	●中小企業の応援					
	産業支援補助事業	市内の空き店舗を活用して新規開業する際の改装や家賃に掛かる費用、新製品・新技術の研究開発費、産業財産権の取得費の一部を補助する。	制度が有効に活用されるよう周知に努めるとともに、効果的な補助メニューを検討する。関係機関と連携し、効果的な時期に面接会を開催し、求職者と企業のスムーズなマッチングを図る。	空き店舗活用促進事業対象出店数	32店舗	総計
				産業支援補助延件数	133件	総計
	就業安定対策事業	市内事業所の人材の確保と、新規学卒者及び再就職者等に向けた合同就職面接会等を開催する。	中小企業勤労者の福利厚生サービスの充実のためにも会員拡大に努める。	就職説明会・面接会参加者数	270人	企業
	勤労者福祉サービスセンター支援事業	栃本市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、中小企業に代わり勤労者へ総合的な福利厚生事業を実施する。	制度が有効に活用されるよう周知に努めるとともに、効果的な補助メニューを検討する。	勤労者福祉サービスセンター会員数	1,450人	総計
	●企業誘致					
	企業誘致事業	企業の新規立地や移転に関する情報を収集し、企業訪問や支援制度により企業誘致を進める。	未分譲区画の早期売売を目指すとともに、次期整備予定地の整備を推進していく。また、市内各IC周辺地区の開発に向けた合意形成を図る。	企業立地件数	29件	総計
市内インター周辺開発事業	栃木インターや都賀インター周辺の区域に新たな産業団地の造成を行えるよう、地域や国・県との話し合いを進め、産業の活性化や雇用機会の創出を目指す。	今後の市街化区域編入に向け、国や県との協議を行い、整備区域や整備手法を具体的に検討する。	地権者同意率	100%	-	
			整備率	10%	-	
●就農の応援						
新規就農支援事業	県内外から若い新規就農者の確保を積極的に進める。	世代間バランスのとれた農業就業構造を実現し、農地等の資源の継承を図る。市外で開催される就農フェアに積極的に参加する。	年間新規就農者数	毎年25人	総計	
都市農村交流事業	農業体験などのグリーンツーリズムを通じ、農業の魅力や食の安全安心、本市の農畜産物を体感してもらう。	「農業公社」を活用した特色ある農業の展開を目指し、市民のニーズに対応した市民農園を開設する。	市民農園開設数	8か所	総計	
移り住む	●移住・定住支援					
	住宅取得補助事業	住宅を新築又は購入した方に対し補助金を交付し、まちなかにおける定住人口の増加と活性化を図る。	利用件数が年々増加しており、新たな定住人口を獲得するため、より柔軟かつ効果的な制度運用を行う。	まちなか補助申請件数	975件	総戦
	移住体験施設運営事業	空き家を活用した移住体験施設を運営し、本市の生活・魅力を実感してもらうことで、本市への定住を図る。	具体的な移住ニーズを持った利用希望者が年々増えており、そうした多様なニーズに応えることができる体制づくりに努める。	稼働日数	285日	-
	栃本市移住支援事業	東京23区にお住まいの方や東京圏から23区に通勤する方が、本市へ移住し、県のマッチングサイトに掲載されている企業に就業した場合等に移住支援補助金を交付する。	県や企業との連携により、求職者と求人企業とのマッチングを図るとともに、効果的な広報による周知拡大に努め、より多くの移住者を確保する。	移住支援補助金交付件数	110件 (2024年)	-
	●空き家の活用					
あったか住まいるバンク事業	利活用可能な空き家・空き地をウェブ上で公開し、利用希望者とのマッチングを行う。	将来的に空き家の増加が見込まれることから、利活用できる物件はバンクへの登録を促していく。	物件年間登録数	90件	総計	
			成約件数	35件増	総戦	

おもてなし

～みんなで力をあわせて～

事業名	内容	課題・展望等	KPI 指標 (目標値)			
			項目名	2022年	出典	
栃木市のことを学ぶ	●栃木市民大学で学ぶ					
	栃木市民大学事業	市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、学びを通じた出会い・交流・仲間づくりの場を提供し、学習成果を活用する環境づくりを図る。	関係機関等と連携し、講座情報の提供や連携講座を開催し、栃木市民大学の枠組みの中で受講生に包括的な学習プログラムを提供していく。	市民大学事業出席者数	1,650人	総計
	●地域で学ぶ					
	社会教育学級・講座等開催事業	青少年・女性・高齢者等を対象とした各種学級講座を開設し、人権や教育・文化等の学習の場を提供する。	地域の特色を活かした講座の開設など、講座の内容の更なる充実を図る。地域の住民だけでなく、市全体を対象とした各種学級・講座等の開設ができるよう努めていく。	学級・講座等受講者数	35,000人	総計
ヨシ細工指導スタッフ養成講座	地場産業であるヨシズの原料であるヨシを活用し、ミニヨシズ編みなどの体験をサポートする人材を育成する。	定期的にヨシ細工を体験できるよう、今後も人材の育成を図るとともに、地場産業の理解を深める。		渡良瀬遊水地に興味・関心を持ってもらい、未来に引き継ぐ人材を増やします。		
渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座	遊水地の成り立ちや自然環境等を学習し、ボランティアで遊水地を案内する「渡良瀬遊水地ガイド」として活動する人材を育成する。	遊水地の地理や歴史、自然環境やスポーツ等、幅広い講座を学ぶことができるようにしていく。		渡良瀬遊水地に興味・関心を持ってもらい、未来に引き継ぐ人材を増やします。		
いきいき市民が活動	●市民活動の応援					
	市民活動推進補助事業	市民活動を支援するため、市民団体の社会貢献に関する事業に対して補助金を交付する。	事業のPRを継続するとともに、新規利用開拓のため、市民活動推進センター「くらら」を活用した制度・団体・イベント等の情報発信と利用者の利便性の向上に努める。	市民活動推進補助事業応募件数	45件	総計
	市民活動補償保険事業	市内に活動の拠点を置く市民団体が、市民活動中に起きた事故に対して補償を行う。	制度の適切な運用を図るとともに、わかりやすい表現での保険内容の説明に心掛け、市民及び庁内への周知に努める。	年間手続件数	1件	-
	●コミュニティ・地域での活動					
	地域づくり応援補助金事業	「まちづくり実働組織」が企画、立案した地域に有益な取り組みを実施するための経費を補助する。	自立した市民団体となるよう組織間の情報交換等の機会を設けるとともに、実働組織が円滑に活動できるよう制度の見直しを図る。	まちづくり実働組織認定延団体数	14団体	総計
	地域予算提案制度事業	市内の自治会や地域会議、地域まちづくりセンターの協力によって集約された意見を、市の予算に的確に反映させる。	地域会議や地域予算提案制度を知らない市民に、地域会議だより等を通じて周知を図る。	年間事業提案数	8件	-
●おもてなしの向上						
観光まちづくり事業	市民が中心となるまちづくり団体を設置し、観光資源の発掘・磨き上げや「おもてなし」の意識醸成を高める。	地域ワーキンググループにおいて、発掘・磨き上げられた観光資源のデータベース化を行い、全市的なモデルルートを作成し、観光客のニーズに合った提案を行っていく。	観光施設年間利用者数	340万人	総計	
また来てみたい、誇れる栃木へ	●各種イベントの実施					
	とちぎ秋まつり開催事業	本市最大の観光誘客イベントである「とちぎ秋まつり」を市内関係団体と協力して隔年で開催する。	市民全体で祭りを支えていく必要があるため、多くの市民が参加できる仕組みづくり等を実行委員会で検討していく。	まつり入込客数	42万人	総計
	歌麿を活かしたまちづくり事業	歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、市民団体との協働により、「歌麿まつり」の開催など様々な取り組みを実施する。	継続した取り組みとしていくため、国や県の補助金等を活用しながら、財源の確保に努める。		歌麿の業績や栃木と歌麿との関わりを市内外に広めるとともにイベント等を通して本市のまちなかの活性化を図ります。	
	渡良瀬遊水地フェスティバル	スカイダイビングや熱気球、カヌーやボート、自転車等の体験ができるイベントを通じて、渡良瀬遊水地への関心を高める。	広大な遊水地で安全に楽しめるよう、自然環境の保全やゴミの持ち帰り運動などの啓発活動に取り組んでいく。		渡良瀬遊水地に興味関心を持ってもらい、未来に引き継ぐ人材を増やします。	
	●伝統					
ヨシ細工体験	ミニヨシズやヨシ灯りづくりなど、遊水地のヨシを活用した体験を通して、ヨシ焼きや自然環境についての理解を深める。	体験を通して、ヨシの水質浄化作用やヨシ焼きにおける目的などの理解促進を図る。		渡良瀬遊水地に興味関心を持ってもらい、未来に引き継ぐ人材を増やします。		



発行年月：令和2年3月

発行：栃木市 総合政策部 シティプロモーション課
〒328-8686 栃木市万町9-25
TEL 0282-21-2315

制作：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所